

日立地域MaaSプロジェクト（仮称）（茨城県 日立市）

【茨城交通、みちのりホールディングス】

◆地域の課題

- 企業城下町として発展。目的となる施設が分散して立地しており、自家用車を中心とした移動に大きく依存しており、主要幹線道路での慢性的な渋滞が発生
- 製造業の海外移転による事業所数の減少と、高齢化による、将来的な人口減少

- 複数移動手段活用時の利便性
- ☑ 公共交通・道路の混雑

- ラストマイルの移動手段不足
- 高齢者等の移動弱者の増加

METi「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 自動運転車両による地方版MaaSモデルを、自動運転に関係する取組、MaaS関連の取組、新モビリティサービス（デマンド型交通）の3つの取組により実現する
- 貨客混載の取組（東京～常陸太田の小口物流）を拡大し、将来的に域内での貨物輸送も同じ交通ネットワークで実現することを目指す

◆実証実験の概要

- ①自動運転走行実証
【日立市】小型自動運転バスの走行実証（20年度1月以降）
【常陸太田市】中山間部における自動運転実証（19年6～7月）
- ②デマンド型交通サービス：通勤型/ラストワンマイル型/企業利用型
- ③MaaSアプリの実証実験（2019年11月）
- ④MaaSデータ統合システムの提供
- ※なお、予定している実証は、国土交通省の新モビリティサービス推進事業、および中型自動運転バス実証実験事業での採択を前提にしている

- | | |
|--|---|
| ☐ カーシェア | ☐ 貨客混載 |
| ☒ デマンド交通 | ☐ ラストマイル配送無人化 |
| ☐ マルチモーダルサービス | ☐ 移動サービスと周辺サービスの連携 |
| ☒ 自動走行車の活用 | |

METi「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理」より引用

◆対象地域

- 実証実験は、自動運転走行実証を日立市と常陸太田市にて、デマンド型交通サービスを日立市内にて実施
- 将来的には、日立地域モデルとしてみちのりHD傘下の各社のエリアへの展開を目指す



通勤型実施イメージ

◆サービスモデル

- 茨城交通を実施主体に想定し、自社運営の複数交通手段を連携した形でのサービス提供を目指す
- 料金モデルは、複数の交通手段（バス、BRT、デマンド交通）を組み合わせ合わせた定額制や、一定の時間や距離内に制限を付けた形での定額制を検討

